# 大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年 第8週 (2月20日~2月26日)

#### 今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

## 定点把握感染症

#### 「インフルエンザ 減少続く」

第8週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,306例であり、前週比14.5%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.72、0.35、0.27、0.16、0.09である。

感染性胃腸炎は前週比14%減の1,109例で、南河内9.88、大阪市西部6.90、大阪市北部6.79、大阪市南部6.44、 三島6.29であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は15%減の67例で、大阪市南部0.72、中河内0.55、南河内・大阪市西部0.50である。 RSウイルス感染症は30%増の52例で、大阪市北部0.64、南河内0.63、大阪市東部0.57であった。

咽頭結膜熱は22%減の18例で、大阪市東部0.21、泉州0.16、大阪市北部0.14である。

インフルエンザは33%減の4,377例で、定点あたり報告数は14.74であった。南河内19.63、北河内18.95、大阪市北部18.75、泉州16.31、中河内16.06である。

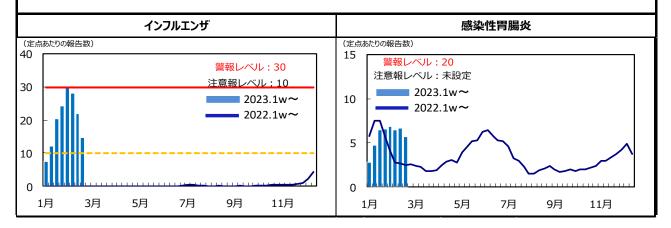


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年 第8週2月20日~2月26日)

第8週の 順位	第7週の 順位	感染症	2023年 2022年   第8週の 前週比 第8週の   定点あたり 増減 定点あたり   報告数 報告数		第8週の 定点あたり	2023年第8週の 年齢別 患者発生数 最大割合値		
1	1	感染性胃腸炎	5.72	14%減	2.43	2歳_15%		
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	15%減	0.17	10-14歳_15%		
3	3	RSウイルス感染症	0.27	30%増	0.16	1歳未満_35%		
4	4	突発性発しん	0.16	11%減	0.09	1歳_62%		
5	6	咽頭結膜熱	0.09	22%減	0.07	2歳_39%		
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	14.74	33%減	0.00	10-14歳_20%		

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

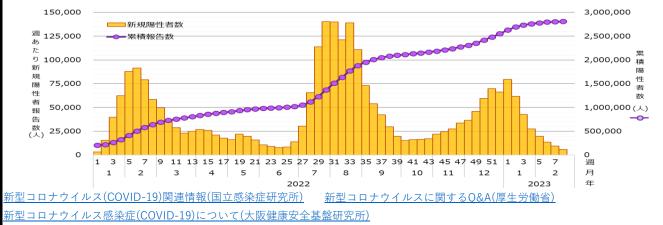
### 第8週のコメント

〜新型コロナウイルス感染症〜 基本的な予防の徹底を(マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回 避)

#### 全数把握感染症

#### 新型コロナウイルス感染症

第8週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は5,836名であり、前週より37%減少した。大阪モデルは、2月24日に警戒信号(黄)から警戒解除(緑)に移行した。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1~14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。



注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

表 2. 大阪府全数報告数(2023年 第8週2月20日~2月26日)

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告 数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1				13
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	3								3	14
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1								16
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	13
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1	16
	梅毒	14	1		1				1	11	196
	百日咳	1								1	4
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	5,836	6 2020年1月以降累積 2,811,334								
結核	<b>結核 新登録患者数:87名</b> (内 肺·喀痰塗抹陽性 33名)										
(2022年12月分)	(2022年12月分) (府内累積報告数 1,117名、内 肺・喀痰塗抹陽性 446名)									場性 446名)	

(2023年2月28日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降』の情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症関連特設サイト(大阪府)